

西暦 2022 年 6 月 15 日

山形大学医学部附属病院にて診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

① 研究課題名	ICRP110 ファントムとシミュレーションを使用したキロボルト X 線イメージングからの放射線被曝線量計算
②倫理審査委員会承認番号	2022-97
② 研究期間	西暦 2022 年 4 月 1 日から西暦 2024 年 3 月 31 日まで
③ 研究の目的	<p>放射線治療では、腫瘍に正確な線量を照射するために、キロボルト X 線イメージングを利用して得られた画像に基づいて臓器の位置を確認する方法をこれまで行っていましたが、X 線被曝をどこまでしてもよいかに関するガイドラインはまだ決まっていません。</p> <p>そこで、私たちは山形大学医学部東日本重粒子センターで重粒子線治療を受けた患者さんを対象に、キロボルト X 線イメージングで曝射された回数に関する情報を分析することにより、実効線量を計算します。</p> <p>この研究により、キロボルト X 線イメージングによる患者被ばく線量を減らすための検討を行います。</p>
⑤この研究の対象となる方	2021 年 2 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに山形大学医学部東日本重粒子センターで重粒子線治療を受けた方
⑥研究の方法	この研究では、山形大学医学部東日本重粒子センターで重

	粒子線治療を受けた方約 500 名を対象に、治療した当時のキロボルト X 線イメージング情報を用いて、被曝線量計算を実施します。
⑥利用する情報	キロボルト X 線イメージングに関する情報 (キロボルト X 線照射回数、管電圧、管電流、性別、年齢)
⑦他機関への臨床情報の提供	本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑧臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：岩井 岳夫
⑨臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：岩井 岳夫 主任研究者氏名：LEE SUNGHYUN
⑩臨床情報の利用停止について	いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。 ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。
⑪問い合わせ先	山形大学医学部附属病院 放射線治療科 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 TEL : 023-628-5404 Fax : 023-628-5389 E-mail : lee.sunghyun@med.id.yamagata-u.ac.jp 担当者氏名 : LEE SUNGHYUN

以上